

# 私立 流通科学大学

取組名称 **就職力向上プロジェクト**

取組担当者 **キャリア開発部 部長 鎌田 豊**

## 1. 本学の概要

流通科学大学は、1988(昭和63)年4月に設立される。

1988(昭和63)年4月	流通科学大学開学 商学部 (流通学科/経営学科)開設
1992(平成4)年4月	情報学部(経済情報学科/経営情報学科)開設
1994(平成6)年4月	商学部(ファイナンス学科/サービス産業学科)開設
1996(平成8)年4月	大学院(流通科学研究科 修士課程)開設
1998(平成10)年4月	大学院(流通科学研究科 博士課程)開設
2001(平成13)年4月	サービス産業学部(観光・生活文化事業学科/医療福祉サービス学科)開設

現在は、商学部、情報学部、サービス産業学部がある大学であり、約4,100名の学生が学んでいる。

本学では、建学の理念を『流通を科学的に研究教育することを通じて、世界の平和に貢献し、真に豊かな社会の実現に貢献できる人材を育成する』とし、本学は三本柱「流通・マーケティング・実学」を教育理念としている。

教育方針(育てたい学生像)は「ネアカ・のびのび・へこたれず」の精神を醸成することである。

## 2. 本取組の概要

本学では、初年時より学生自身のキャリア開発を目指し、正規授業の中に基礎演習、キャリア開発実習といったプログラムを実施し、低年次から大学卒業後のキャリア、特に就職に対する意識を向上させるカリキュラムを設けている。更に開学当初から、実業界で活躍するビジネスマンを学外講師に招いた特別講義を業界別に10科目以上開講する等実践的な授業を展開している。本プロジェクトは、こうした正規授業の補完策

として、より実際の就職に重点をおいた各種プログラムを実施する。具体的にはOB・OGの活躍を題材にした就職情報誌の発行、就職活動の基本やノウハウを学ぶマニュアル本の作成、更には就職活動の理解を深めるためのガイダンスの実施や、業界や職種の実情を学ぶ少人数での研修会の実施である。これらの施策の実践により正規授業と正規外のプログラムを効果的に融合させ、社会観・就職観の醸成や就職希望率の向上を目指す。

## 3. 本取組の趣旨・目的・達成目標

### (1) 取組の趣旨・目的

高い就職率を維持するために、まずは就職希望者を増やす。その施策として就職に対するロマンや夢を学生に持たせたい。あわせて業界や職種に対する研究、自己分析(適性)を行い、そのうえで就職活動に対するハウツーやテクニックを指導教育する。社会で活躍する先輩の姿から就職への夢を抱きその実現に向けて社会人基礎力を養うべく、セミナー、研修会等を開催する。

### (2) 達成目標

2011(平成23)年度における就職率(卒業者数に対する就職者数)85%を目標とする。経済環境の変化や、業界ごとの経営環境や企業の業績を踏まえ、就職先(企業)の開拓や求人情報をタイムリーに収集することで、学生にとってより効果的な就職先の斡旋、就職支援を行い全国でもトップクラスの就職率を維持する。

## 4. 本取組の具体的内容・実施体制

### (1) 取組の具体的内容

本取組の目標である2011(平成23)年度就職率85%を達成するために、OB・OGの活躍情報を中心とした就職情報誌を作成する。その主たる目的は、学生に就職に対するロマンを持たせることであり、夢のある就職

活動への誘導である。加えて実践的なテクニックを学ぶために専門講師による各種ガイダンス・セミナー、研修会を実施し、現実の就職活動に向けたスキルアップを図る。

## (2) 取組の実施体制

学長の諮問を受けてキャリア専門部会を組織し、キャリア教育担当教員とキャリア開発課職員並びに教務課職員が、これまでのような縦割り業務を解消したキャリア教育とキャリア開発支援の融合を図る。また、この部会が企画立案したキャリア開発支援プログラムの実践にあたっては、卒業生やキャリアチューター（進路が決まった4年生）を組織化して後輩のサポートにあたる。

## 5. 本取組の評価体制・評価方法

### (1) 取組の評価体制

本取組では、各学部から選ばれた教員で組織する「キャリア開発委員会」において、その効果を測定する。個々の対策ごとの参加状況、過去との数値比較、その他効果測定指標を分析し、それらが就職率に及ぼした影響を論理的に説明可能にする。結果の分析・反省を次年度の対策につなげていくことで、最終の目標就職率を達成するとともに、以降も高位安定を維持したい。

### (2) 取組の評価方法

卒業者数に占める就職者数を就職率とし、85%を目標とする。就職希望者数に対する就職決定者数を就職内定率とし、98%以上を目標とする。2008(平成20)年度の就職率は、82.4%、就職内定率は98.2%であった。個々の対策ごとに、参加率、過去の数値との比較、他大学との比較といった目標を設定する。

## 6. 本取組の実施計画等

本取組では、就職情報誌や「BtoB企業ガイドブック」等を作成し、ガイダンスなどにおいて学生への配付を徹底する。これら作成物の成果を測定するためにはセミナー、研修会などを効率的に開催し、そのカリキュラムにおいて、学生の習熟度合いを測定する機会を設け、年次の改定をしつつ、目標達成を目指す。

## 本取組の具体的な計画と実施

### (1) 業界・職種研究及びOB・OG活躍紹介の就職情報誌の発行

発行予定：2010年3月

発行部数：1,000部

内容：

- ・業界研究・職種研究
- ・OB・OG活躍紹介
- ・流通小売業の特集

### (2) 就職対策宿泊セミナーを実施

目的：就職実践対策として、就職心構え、エントリーの仕方、面接、グループディスカッションのワークで就職意識を醸成する。

対象者：3年生

形式：1泊2日の宿泊合宿

指導員：キャリア開発教職員、キャリアチューター（4年生）

キャリアチューターとは、毎年11～12月頃に就職活動を終えた4年生が、どのように就職活動を行い、内定にまで至ったかについての体験談を3年生を対象にレクチャーする就職活動相談会や合宿研修で指導することを目的としている。

評価：今回参加した学生の就職履歴をトレースし、就職活動への効果や次年度キャリアチューターの指導的役割に期待する。

表1 就職対策宿泊セミナー実施日

回数	年月日	会場	参加人数
第1回	2009年11月7-8日	スペースアルファー神戸アネックス	35人
第2回	11月21-22日	コープこうべ協同学苑	32人
第3回	12月5-6日	コープこうべ協同学苑	42人
第4回	12月19-20日	コープこうべ協同学苑	41人
第5回	2010年1月9-10日	コープこうべ協同学苑	37人
第6回	1月30-31日	スペースアルファー神戸アネックス	39人

表2 就職対策宿泊セミナー日程表

第3回就職対策宿泊セミナー

1日目		
開始	内容	備考
13:00	開講挨拶	キャリア開発課職員・チューター
13:10	就活マナーについて ・身だしなみ、面接入退出等	キャリア開発課職員
13:50	グループディスカッション①	キャリア開発課職員
15:10	2010就職活動最前線 水河期を乗り切る就活対策	足立 明 教授
16:20	グループ面接①	キャリア開発課職員・チューター
18:00	(食事・休憩)	
19:00	履歴書アドバイス①	キャリア開発課職員
19:30	履歴書アドバイス②	チューター
20:40	履歴書添削 一日の振り返り 就職相談	各部屋 (22:00以降懇親会実施) (23:00までに入浴すること)
0:00	(就寝)	
2日目		
開始	内容	
7:30	(食事)	
8:30	志望動機の育て方	元岡 俊一 講師
9:40	個人面接 説明・実施・講評	キャリア開発課職員・チューター
11:20	1分間自己PR	・教職員よりエール (時間をみて各組員からも)
11:50	合宿の振り返り・閉講	アンケート記入



写真1 グループディスカッション風景



写真2 グループ面接風景

(3) ビジネスセミナーの実施

企業との情報交換会

目的：企業の採用担当者との就職情報交換を実施することによって、採用の動き、育成すべき学生像を理解する。

実施日：10月9日(金) 東京会場

11月27日(金) 姫路会場

企業側：採用担当者

大学側：副学長及びキャリア開発委員会メンバー、キャリア開発課職員

実施内容：表3参照

参加者数：東京会場 (21社、27名)

姫路会場 (17社、21名)

表3 ビジネスセミナー日程表及び参加者数

第8回ビジネスセミナー	
日時	2009年10月9日(金) 14:00~17:30
場所	CERULIEAN TOWER TOKYU HOTEL 39階 タワーズサロン ソレール・ルナール 〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町 26-1 TEL 03-3476-3000 FAX 03-3476-3001
参加企業	27名(21社) 教職員 11名(教員5名、職員6名)
次 第	
【ソレール】	
第一部 講演会	14:00~15:00
講師	又賀 喜治 教授 流通科学大学 副学長 テーマ 「流通科学大学の教育理念について」
講師	鎌田 豊 流通科学大学 キャリア開発部長 テーマ 「本学の就職活動状況について」
情報交換会	15:10~16:00
テーマ	「企業が望む学生像について」
【ルナール】	
第二部 懇親会	16:05~17:30



写真3 ビジネスセミナー風景（東京会場）



写真5 E-Testing筆記対策説明会風景



写真4 ビジネスセミナー風景（姫路会場）

写真6 E-Testingの案内チラシ

(4) SPI対策としてWebテストの導入

ねらい：

採用試験で重要となる筆記対策として、SPI対策模試や集中講座、さらには教職員による個別指導等様々な対策をおこなっている。最近の学生が苦手とする筆記試験を今後もしっかりと勉強させるため、新規対策としてWeb上で多くの問題をとけるシステムを導入する。何度も繰り返し勉強することによって、得点アップを目指す。

運営スケジュール：

2009年

9月16日(水) 就職ガイダンスで講座告知

9月中旬 ID及びパスワード配付開始

10月13日(火)、15日(木) 説明会

10月～12月初旬 ゼミ訪問で随時説明・推奨

2010年

1月末 ID及びパスワード配付終了、登録締切

受講者数：512名申込（2009年12月7日現在）

写真7 E-Testingの配付資料